

## ? 住宅用火災警報器のお手入れ等は?

### ! 住宅用火災警報器のお手入れ方法

住宅用火災警報器がきちんと働くためには維持管理が重要です。

●住宅用火災警報器が汚れたら…中性洗剤を浸して固く絞った布で軽くふきましょ。シンナーなどは決して使用しないでください。

●電池交換を忘れずに…乾電池タイプは電池の交換を忘れないようにしましょう。電池が切れそうになったときは、音や光で交換時期を知らせてくれます。

●定期的に作動確認をしましょう…住宅用火災警報器本体から下がっている引きひもを引く、あるいはボタンを押すなどにより作動確認を行いましょ。どちらもついていない場合は、タバコや線香の煙を吹きかけることで確認することも可能です。長期間家を留守にしたときも作動確認をしましょ。また作動試験は1カ月に一度を目安としてください。



### ! 故障が疑われるとき

●作動試験をしても警報が鳴らない場合…電池の寿命又は電池ホルダ部のさびなどが考えられます。電池を新しいものに交換又は電池接続部分を確認してください。

●電池を新しいものに交換しても作動しない場合…住宅用火災警報器の故障も考えられますので、取扱説明書の確認や販売店又はメーカーにご相談ください。

### ! 交換期限について

住宅用火災警報器本体も、センサー等の寿命により交換が必要になります。機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか、「ピー」という音などで交換時期を知らせてくれます。そのめどがおおむね10年です。詳しくは取扱説明書を確認してください。

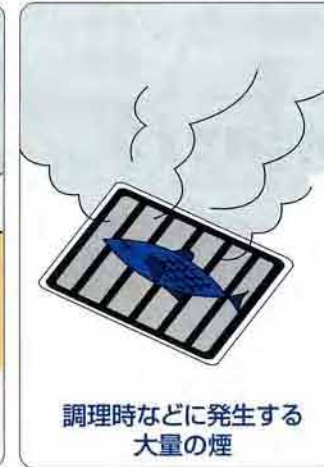
## ? 火災以外でも作動してしまうこともある?

### ? 住宅用火災警報器が火災以外でも鳴ってしまう場合

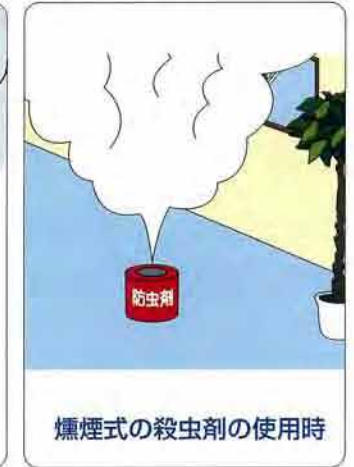
火災以外でも、住宅用火災警報器は鳴ってしまうときがあります。例えば…



たばこの煙



調理時などに発生する  
大量の煙

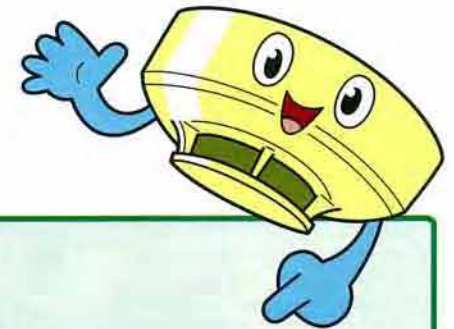


燻煙式の殺虫剤の使用時

※とくに燻煙式の殺虫剤を使用するときは、警報が鳴ってしまうおそれがありますので、煙を感知しないように、あらかじめ住宅用火災警報器をビニール袋で覆ったり、取り外しておきましょう。

なお、作業が終了した時点で必ずビニール袋を取り除くか、再度設置しましょ。

※ひんぱんに鳴ってしまう場合は、設置場所の変更を検討してください。



住宅用火災警報器に関するお問い合わせ先

**住宅用火災警報器相談室**

TEL.0120-565-911 (フリーダイヤル)

受付時間 月曜から金曜日までの午前9時から午後5時(12時から1時を除く)  
(土日及び祝日は休み)